

「東アジアの人文知」主催

第5回国際フォーラム「越境する人文知」

2015年7月26日（水）

戸山キャンパス 39号館第5会議室

7月27日（水）午前10時から戸山キャンパス 39号館 5階第5会議室にて、総合人文科学研究センター部門「東アジア人文知」主催の第5回国際フォーラム「越境する人文知」が開催された。

第五回目を迎えたこの国際フォーラムでは、12名にも及ぶ多くの訪問学者・交換研究員の方々に本学での研究成果を発表して頂き、共に議論する学術交流を行った。今回は本部門代表者の千野拓政教授の開会挨拶から始まり、総勢12名の研究者が順次発表を行った。発表者、コメンテーターは次の通りである。（敬称略）

1. 寿舒舒（浙江農林大学副教授）

「江戸時代における中国絵画書籍の受容—唐船持渡書を中心に—」

（司会・コメンテーター：閻秀）

2. 閻秀（中国湖南師範大学講師）

「『万葉集』における鶴の歌——漢籍受容の視点から」

（司会・コメンテーター：寿舒舒）

3. 王亜楠（文学研究科博士後期課程）

「武田泰淳『ひかりごけ』論 —— 「光の輪」・「我慢」による人肉喰の解説——」

（司会：陳 瀟媛、コメンテーター：松本 海）

4. 林振岳（復旦大学古籍整理研究所博士後期課程）

「倉石武四郎《舊京書影提要》稿本について」

（司会・コメンテーター：陳竺慧）

5. 陳竺慧（文学研究科博士後期課程）

「野村篁園の填詞における「領字」について」

（司会・コメンテーター：柯明）

6. 周健強（北京大学博士後期課程）

「日本蔵《狐媚叢談》と《狐媚鈔》版本考」

（司会・コメンテーター：陳竺慧）

7. 張慧倫（浙江大学中文系博士後期課程）

「日本の耽美小説の中国への流入とその影響」

(司会・コメンテーター：楊駿暁)

8. 徐楠（北京外国語大学日本学研究センター）

「日本語の接尾辞「化」の統語機能について」

(司会・コメンテーター：森山卓郎)

9. 楊玲（北京外国語大学博士後期課程）

「新聞見出し表現の日中対照研究」

(司会・コメンテーター：森山卓郎)

10. ジョン・ビョンミン

「直前を表す副詞」

(司会：森山卓郎、コメンテーター：呂妍)

11. 呂妍（文学研究科博士後期課程）

「程度表現における同形反復についての日中対照研究」

(司会：森山卓郎、コメンテーター：楊玲)

12. 金少華（浙江大学古籍研究所講師）

「李善注引《毛詩》考異」

(司会・コメンテーター：河野貴美子)

各研究者の発表の後は質疑応答、意見交換が行われた。今年は特に書籍受容、表現の比較・対照に関する発表が多かった。そして、延べ36名の方々が来場しこのフォーラムの議論に参加した。最後に、本学の河野貴美子教授の閉会挨拶を持ち、午後6時40分に終了した。第5回フォーラムも多くの国の研究者による興味深い発表、議論が行われた。(報告：洪 性珉)

